

教育大綱かけがわ

～子どもたちの未来のために～

子どもは未来の宝です。

人口減少の進行やAIなどの技術革新によって社会情勢が大きく変化する中でも、子どもたちは多くのことを学びながら成長していきます。

私たちは、子どもたちがそれぞれの「希望」^{のぞみ}を持ち、「こんなことをやってみたい」、「こうなりたい」と思う気持ちを大切にし、何度でもチャレンジできる力を育むことをめざします。そのために、掛川市民と掛川市がこれまで大切にしてきた「報徳の教え」や「生涯学習」を基盤に、これまでの「協働」から、共に新たな価値を創る「共創」のまちづくりへと進化させ、だれもが自分らしく暮らせるまちを創造します。そして、子どもたちの未来のために、私たち一人ひとりが何をすべきか、何ができるのかを問いかけ合いながら、生涯学び続け、子どもたちの目標となるような充実した人生の実現をめざします。

今、掛川市は、これらの視点に立って、教育大綱を定めます。

令和8年3月

めざす姿

自ら未来を切り拓き生き抜く力を備えたひと

- 変化に対応できるレジリエンス※を備え、失敗を恐れず自分らしくチャレンジできるひと
- 性別、年齢、国籍、障がいの有無、文化など様々なちがいを力に変え、共創により、
新たな価値の創造にチャレンジできるひと
- 生成AIにはない「人間力」を備えたひと
- 自律した心を持ち、平和を愛し他者の考えや痛みに共感できるひと
- 豊かな心と健やかな体を育み高めていくひと
- 地域や自然を大切にし、郷土愛を育み、未来を見据えた行動ができるひと

※困難や逆境に直面しても、それを乗り越え、回復し、成長する力



基本方針

1 こころざしと学ぶ意欲を育てるひとづくり

生涯にわたって、充実した人生を過ごすために、子どもたちの知識、感性、経験、体力、探究心、コミュニケーション力、変化への対応力等を高める仕組みづくりを進めます。探究型の学びを通じて、自分の人生を舵取りする力や、主体的に問題を解決する能力を身に付け、心身の健全さと社会的充足感を保ちながら活躍できるひとを育みます。

2 未来を見据えた環境づくり

人生において学びの場は多様であり、成長過程においてそのステージは変化します。掛川市全体を学びのキャンパスとする取組を進めるとともに、先進的なテクノロジーを駆使した特色ある学びの環境を充実させます。また、AIをよきパートナーとして活かしながらも、市内だけでなく、市外やさらには世界へと視野を広げ、多様な学びの機会を創出することで、自ら考え続ける力を育む環境づくりを進めます。

3 学びと育ちを支えるまちづくり

子どもが自分らしさや可能性を十分に発揮し、互いのちがいを尊重しながら他者を思いやり、認め合うことがあたりまえの文化となる社会を構築します。地域の歴史や文化、人的資源及びICTを積極的かつ効果的に活用し、子どもの興味や発達段階に合わせた柔軟な学び方を取り入れたまちづくりを進めます。



本大綱の期間は、令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

教育大綱かけがわ 発行：令和8年4月 編集：掛川市企画政策課